

万博国際交流プログラム 交流計画の進捗状況

<特別交付税措置対象地域>

令和7年 3月
内閣官房 国際博覧会推進本部事務局

本資料は、万博国際交流プログラムの登録自治体からの報告を基に、内閣官房国際博覧会推進本部事務局が取りまとめたもの。

雲仙市交流計画の進捗状況

自治体名

長崎県雲仙市

相手国・地域

デンマーク王国

(1) 背景と目標等

ア 背景と目的

雲仙市の人口は約4万人で少子高齢化と人口減少が地域課題であり、主な産業は農業と観光業である。本市で有機農法をベースに在来種野菜の種を40年以上繋ぎながら育て全国から注目を集めている農業者「岩崎政利」氏がいる。岩崎氏の取り組みと在来種野菜に魅了され移住してきた料理人等がレストランや野菜の直売所を開業し、交流人口と関係人口の拡大につながっている。本市はこれらの動きに着目し関係人口の創出事業を行ってきた。また岩崎氏を軸とした官民の取り組みが評価され2024年に美食都市アワードに雲仙市が選ばれた。今回、万博を契機として、さらなる関係人口の拡大を目的とし有機農業先進国でかつ美食都市コペンハーゲンを首都に有する「デンマーク王国」と交流を行うとともに、岩崎氏の在来種野菜を展示するシグネチャーパビリオン「EARTH MART」の関係者などの著名人をゲストにしたトークセッションを行う。

イ 目標

アを踏まえ、交流計画を実施することにより国内のみならず国外の関係人口の創出を目標とする。

(2)ー1 事業内容

【事業名】・・・食と未来に関するトークセッション(万博会期前実施)

- ①スケジュール 令和7年3月10日 京都市・紫明会館 第1回トークセッション開催。
- ②体制 雲仙市、市内有機野菜直売所店主
- ③内容 食と未来に関するトークセッション。これまで食の企画などを手掛け、大阪・関西万博において「食」に関するシグネチャーパビリオンのプロデュースを行っている小山薫堂氏の哲学や人生観をトークにより深掘りし、企画の極意を訊き出した。
- ④効果 (自治体内への波及効果)市民や市外の関係人口に対して万博開幕に向けた機運醸成
(実施により達成できた成果)現地参加者 21名、オンライン視聴回数 1万9千回(3月21日時点)
(相手国への波及効果)現時点でなし
- ⑤当該事業において交流した交流相手の類型(推進要綱第2(1)ア～ウから選択)
 - ア 万博参加国・地域のナショナルデーのイベント参加、万博参加国・地域のパビリオンの準備・運営等に関わる者
 - イ 万博参加国・地域の関係者
 - ウ 万博の企画・運営等に関わる日本側の万博関係者

(2)ー2 事業内容

【事業名】・・・食と未来に関するトークセッション(万博会期中、期間後実施)

- ①スケジュール 令和7年5月～11月 関西地区、関東地区等 6回程度 日程等調整中
- ②体制 雲仙市、業務委託先(オーガニックベース)
- ③内容 未来の食と文化に関するトークセッション。これまで雲仙市で開催してきたトークイベント「種を蒔くデザイン展」に登壇してきた著名人らによるトークイベント。
- ④効果 (自治体内への波及効果)在来種野菜の魅力を発信し雲仙市の関係人口を創出(予定)
(実施により達成できた成果)現時点でなし
(相手国への波及効果)現時点でなし

⑤当該事業において交流した交流相手の類型(推進要綱第2(1)ア～ウから選択)

- ア 万博参加国・地域のナショナルデーのイベント参加、万博参加国・地域のパビリオンの準備・運営等に関わる者
- イ 万博参加国・地域の関係者
- ウ 万博の企画・運営等に関わる日本側の万博関係者

(2)ー3 事業内容

【事業名】…雲仙市内におけるデンマーク王国関係者との交流(万博会期中実施)

- ①スケジュール 令和7年7月～9月頃 雲仙市内 3日間程度 の開催に向けて招待者の日程調整中
- ②体制 雲仙市、業務委託先(オーガニックベース)
- ③内容 農地・直売所視察見学、在来種野菜の種採り体験、在来種野菜の試食会、デンマーク王国関係者と市民との交流会
招待者:デンマーク王国大使館職員2名程度、デンマーク王国内のレストランで勤務する、もしくは勤務したことがある料理人2～3名程度。
- ④効果 (自治体内への波及効果)市民の国際交流促進とシビックプライドの醸成、在来種野菜の魅力発信、市外国外の関係人口創出(予定)
(実施により達成できた成果)現時点でなし
(相手国への波及効果)現時点でなし
- ⑤当該事業において交流した交流相手の類型(推進要綱第2(1)ア～ウから選択)
 - ア 万博参加国・地域のナショナルデーのイベント参加、万博参加国・地域のパビリオンの準備・運営等に関わる者
 - イ 万博参加国・地域の関係者
 - ウ 万博の企画・運営等に関わる日本側の万博関係者

3 交流計画が掲げる目標に対する成果

- 国内のみならず国外の関係人口の創出 現地参加者 21名、オンライン視聴回数 1万9千回(3月21日時点)
今後デンマークを主とした国外への魅力発信により国外からの観光客の増加につなげる。

4 大阪・関西万博を契機としたレガシー創造への寄与

主な交流相手であるデンマーク王国内のレストランで勤務する、もしくは勤務したことがある料理人との交流は、大阪・関西万博閉会後も市民レベルでの交流は続いていくこととなり、関係人口創出事業、有機農業推進事業、外国人観光客需要拡大事業等の市の施策に受け継ぎ、引き続き地方創生に寄与していくものであると考える。また、草の根においても市民同士の交流は続くことが考えられ、市民からの要望があった場合はデンマーク王国や海外料理人との交流を促進していきたい。シグネチャーパビリオン「EARTHMART」における在来種野菜の展示を見られた方々が雲仙市を訪れることにもつながることを期待していると同時に、市民においては大阪・関西万博に雲仙市の在来種野菜が展示されたということに誇りを感じ、今後語り継がれることになることが期待される。

5 特に良かった点、苦労した点

●良かった点

会期前の事業はトークイベント1回のみであるが、パビリオン関係者とのトークにより万博を契機とした交流の機運醸成につなげることができた。

●苦労した点

デンマーク大使館とのファーストコンタクトまでの手続き

6 今後の展開

- ・交流計画に基づく会期中、会期後の交流事業の実施
- ・令和8年度以降における事業の企画、予算化

7 今後の展開における課題

- ・本市とイベント業務委託先と連携し関係先との調整を短期間で行う必要がある。
- ・市民および国内、国外への広報、告知によるイベント等交流事業への参加者確保、関係人口の創出
- ・継続的な財源確保



雲仙市の在来種野菜生産者 岩崎政利氏



雲仙市で種を受け継いできた在来種野菜



令和7年3月10日トークイベント(京都)